



大腸癌に対する腹腔鏡下手術の変遷

外科部長 村上 雅一

近年本邦では大腸癌が急速に増加しており、65歳以上の高齢者においては2014年現在罹患率は男性で胃癌、肺癌に続いて第3位、女性では第1位となっています。



腹腔鏡下大腸切除術手術風景（一番左が筆者）

大腸癌に対する腹腔鏡下手術は本邦では1992年に始められましたが、初めの頃は主に早期癌、しかも右側結腸やS状結腸など部位も限定されたものでありました。しかし、技術や器械の進歩によって2000年代半ば頃から急速に普及し、さらに横行結腸や下部直腸といった以前は熟練した術者だけが行っていたような部位に対しても、また進行癌に対しても行われる手術手技となりました。

腹腔鏡下手術は創が小さく術後の痛みが軽い、体の回復が早い、創が小さく美容上優れる、肺炎や無気肺などの呼吸器合併症が少ない、術後癒着が少ないといった大きなメリットが患者様にあります。しかし反面、手術に長時間かかる、手術時間や体位の関係で術中の循環器系負担がやや大きい、bulkyな癌や他臓器への浸潤癌などは適応にならないものがあるなどのデメリットもあります。しかし、手術時間は長くなっても術後の回復は明らかによく、「思ったよりも楽だった。」などとうれしそうに話される方が大勢おられます。また腹腔鏡下手術では部位や経過にもよりますが、術後約10日間程度で退院可能な状態になります。



腹腔鏡下大腸切除術の手術創

早期大腸癌に対する腹腔鏡下手術は早くからその有用性が認められていましたが、進行癌に対しても標準手術とすべきか否かということに関してはしばしば議論されてきました。進行大腸癌での開腹手術に対する腹腔鏡下手術の非劣勢を検討したJCOG0404試験の結果が2017年に発表されましたが、

データ上では残念ながら腹腔鏡下手術は開腹手術と比較しての非劣勢は証明されませんでした。しかし、試験開始から10年以上の年月が経過していること、郭清を含めた手術手技が明らかに向上していること、さらに実際の臨床の現場での結果がよいことなどから、進行癌に対しての腹腔鏡下手術もその後もさらに増加しています。日本内視鏡外科学会が2017年に行った全国アンケート調査でも大腸癌手術の72.2%が腹腔鏡下手術でありました。

当院外科では大腸癌症例をカンファレンスで十分検討し、可能な症例はできる限り腹腔鏡下手術を行う方針としています。またリンパ節郭清もD3郭清を行うことを標準とし、根治性に関しても十分配慮した手術を行っております。

大腸癌の腹腔鏡下手術割合の推移

	2008年	2012年	2017年
腹腔鏡下手術割合 (%)	38.4	50.8	72.2

※日本内視鏡外科学会全国アンケート調査(2018年)より抜粋

当院の大腸癌の腹腔鏡下手術実績

	2019年
大腸癌手術症例数	40
腹腔鏡下手術割合 (%)	87.5

当然ですが、できる限り早期で癌を発見することが根治性を高めるための最も重要なこととなります。大腸癌はかなり進行した状態で発見されることもあります。また、たまたま受けた便潜血検査で陽性となり、精査で大腸内視鏡検査を受けたところ癌が発見されたという方が多数おられます。また、大腸癌は検診を受けることで死亡率が下がることが最もよく確認されている癌で、検診を受けた方では60%以上死亡率が低下し、また進行癌が約50%減少するとされています。しかしながら兵庫県では男性の約37%、女性では約28%しか検診を受けておられないのが実情です。

地域の先生方におかれましては、便通異常や血便を訴えられる方、また原因不明の貧血がある方などに大腸の精査、特に大腸内視鏡検査を勧めていただければと思います。当科では今後も地域の先生方のお役に立てるよう努力していきたいと考えております。これからもよろしくお願いいたします。

新入職医師のご紹介



内科医員
やすだ みな
安田 美奈

専門分野 ●呼吸器内科
趣味 ●散歩、テニス

1月より診療させて頂くことになりました安田でございます。

ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、地域医療に貢献できるように一生懸命勤めさせていただきます。ご指導のほど、よろしくお願い致します。

ピッツバーグ大学医療センター（UPMC）の医療と人材育成

総合診療科部長 松田 守弘

ピッツバーグ大学医療センター(以下UPMC)は米国ペンシルベニア州南西部にある大学附属病院を中心とした医療施設群で、特に人材育成で高い評価を受けています。飯塚病院では現地で指導医養成コースを約1週間受講するUPMC研修が毎年行われています。昨年10月受講者4名の中に私も加えて頂き本研修に参加する機会を頂きました。

歴史的にピッツバーグは1970年代まで世界屈指の鉄鋼都市でしたが鉄鋼産業の衰退とともに高い失業率と工場廃墟の都市に転落していました。1980年代後半から始まったUPMCを中心とした医療・ヘルスケア事業は、2010年代には経営的に大きな成功を収め、今では地域全体の再生に大きく貢献するまで成長しています。

UPMCは40の中小規模病院で構成され全体で約8500床を有する大規模病院群です。専門性を要する医療施設は共有され、家庭医療の外来クリニック

や看護施設なども数多く傘下に置かれた巨大なネットワークが形成され、経営の集約化・協働化が行われていました。医師は傘下の複数の施設で勤務しますが、出張先でもスマホで病院の電子カルテにアクセスして診療できるなど労働生産性を高める工夫も進んでいました。そして、優れた人材育成システムは、優秀な医療人材を継続的に供給し地域医療を支える重要な役割を担っていました。

今回参加した研修では、UPMCの指導医が共通して習得している様々なノウハウについて講義を受け、UPMCの地域医療と研修医指導を見学させていただきました。本研修は、自身の指導スキルの向上だけでなく、地域によりよい医療サービスを提供する上で人材育成の重要性を再認識する機会にもなりました。今後、UPMCで研修したことを活かし、川崎病院が地域の医療人材の育成に貢献できるよう一層尽力したいと思います。

専門特殊外来等担当医表

診 療 科		月		火			水		木			金		土(第2・4は休診)
内 科	午前	大塚 章人 【糖尿病外来】		大塚 章人 【糖尿病外来】			村井 潤 【糖尿病外来】		大塚 章人 【糖尿病外来】		末廣 大知 【神経内科外来】		市原 紀久雄 佐藤 宏紀 【糖尿病外来】 【呼吸器外来】	
	午後	辻尾 成人 【腎臓外来】	安田 美奈 【呼吸器外来】	粕本 博臣 【腎臓外来】	久保 聡子 【糖尿病外来】	村井 潤 【糖尿病連携合併症外来】	粕本 博臣 【腎臓外来】	吉岡 潤哉 【呼吸器外来】	中村 正(第1・3・5) 大塚 章人(第2・4) 【膠原病外来】	長谷 善明 【腫瘍外来】	安田 美奈 【呼吸器外来】	飯田 正人 【血液外来】		
消化器内科	午前	前田 哲男		野村 祐介			前田 哲男		野村 祐介		西田 悠			
総合診療科	午前	高井 研次		松田 守弘 9：00～11：00					松田 守弘 9：00～11：00		高井 研次			
循環器内科	午前	高橋 怜嗣 【不整脈外来】		担当医 【心臓血管外科外来】(注)										
	午後						西堀 祥晴 【ペースメーカー外来】(第1・3)							
外 科	午前			谷野 裕一 【乳腺外来】			(第1・4) 【ストマ外来】 9：00～						木下 健生 (第1・3) 【乳腺外来】	
	午後								柴北 宗顕 【直腸肛門外来】 14：30～					
整形外科	午前												戸祭 正喜 【スポーツ外来】	
	午後								西堀 祥晴 【骨粗鬆症外来】(第1・3・5)					
耳鼻咽喉科	午後								下屋 聡子 【補聴器外来】(第1・3・4・5) 要外来受診					
形成外科	午前								【フットケア外来】					
	午後								【レーザー外来】 完全予約制					

(注)心臓血管外科外来では、心臓弁膜症などの疾患に対する外科的治療について検討を行い、手術適応症例については大阪大学心臓血管外科(患者さんの希望によっては近隣病院)に紹介致します。

ご予約は地域医療連携室まで電話またはFAXにてお申し込み下さい。

電話 078-511-3133 / FAX 078-511-3297

その他、各診療科にて力を注いでいる疾患・治療

(注)学会など諸事情により代診、休診になる場合もあります。あらかじめご了承ください。

標榜科	専 門	医師名および診療曜日	標榜科	専 門	医師名および診療曜日
内科	肥満、高脂血症、痛風	中村 正(月曜 午前／水曜 午前)	耳鼻 咽喉科	睡眠時無呼吸症候群	下屋 聡子 (月、水、木、金、土 午前) ※土曜日は第3・5のみ
	血 液	飯田 正人 (月曜 午前／水曜 午前／木曜 午前／金曜 午後)		中 耳 炎	
	糖 尿 病	市原 紀久雄(月曜 午前／金曜 午前)		アレルギー性鼻炎	
	喘 息	安田 美奈(月曜 午後 ／ 木曜 午後)		副 鼻 腔 炎	
循環器内科	冠動脈疾患	全医師が対応致します		扁桃 炎	
	末梢動脈疾患			声帯ポリープ	
	心 不 全			突発性難聴	
外科	消化器癌の外科的治療 (近年は腹腔鏡手術に 力を入れております)	谷川 隆彦(月曜 午前／水曜 午前／金曜 午前)	形成外科	顔面神経麻痺	相原 淳子 (月、火、木、金 午前)
		村上 雅一(火曜 午前)		癬痕拘縮・ケロイド	
		木村 聡宏(木曜 午前／金曜 午前)		良性・悪性の皮膚腫瘍	
		星野 宏光(木曜 午前)		熱傷・外傷	
		新毛 豪(月曜 午前)		眼瞼下垂	
	*手術内容に応じて変更になることがあります			顔面骨折	
肝胆脾領域の悪性疾患	星野 宏光(木曜 午前)	癬痕・癬痕拘縮	村上 英毅 (月、火、木、金 午前)		
胆石症、虫垂炎、ソケヘルニア などの外科的疾患	全医師が対応致します	難治性潰瘍			
整形外科	小 児 全 般	戸祭 正喜(月曜 午前／土曜 午前)		外傷	全医師が対応致します
	手 全 般			皮膚・軟部組織損傷(全身)	
	ス ポ ー ツ 障 害 全 般			顔面骨折	
	脊椎、関節	堀之内 豊(水曜 午前／金曜 午前)	感 染 症		
	骨 粗 鬆 症	西堀 祥晴(第1・3・5木曜 午後)	歯科	腫瘍(悪性、良性)	
			口腔外科	顎 骨 骨 折	
眼科	涙 道 手 術	松場 真弓(火曜 午前／水曜 午前／金曜 午前)		インプラントおよびインプラントのための骨再生	

ご予約は地域医療連携室まで電話またはFAXにてお申し込み下さい。

電話 078-511-3133 / FAX 078-511-3297